

日本语

初级
(I)

〔日〕东海大学留学生教育中心 编

■ 王振东 齐秀茹 编译

南开大学出版社

日本語

初级Ⅰ

日本东海大学留学生教育中心编

王振东 齐秀茹 编译

南开大学出版社

〔日〕東海大学留学生教育センター 編

東海大学出版会 1992. 9. 30

本中文版由 Japan Uni Agency Inc. 和中国天津版权代理公司代理,取得日本株式会社企画室的正式授权。

版权所有,翻版必究

图书在版编目(CIP)数据

日语初级. I / 王振东, 齐秀茹编译. —天津:
南开大学出版社, 1999

ISBN 7-310-01324-7

I. 日... I. ①王...②齐... III. 日语-教材
IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(1999)第 49351 号

出版发行 南开大学出版社

地址:天津市南开区卫津路 94 号

邮编:300071 电话:(022)23508542

出版人 张世甲

承印 天津宝坻第二印刷厂印刷

经销 全国各地新华书店

版次 1999 年 12 月第 1 版

印次 1999 年 12 月第 1 次印刷

开本 787mm×1092mm 1/16

印张 16.75

字数 414 千字

印数 1 — 5000

定价 27.00 元

序

时下正值世纪之末。包括从社会变化到自然界的各种异常现象都可理解为向新世纪转换的信号。把掌握国内外动向的当代称为“国际化时代”的叫法甚至使人感到已“落后于时代”。现在世界上正出现“全球化时代”、“无国界社会”等人类一体化的社会现象。

在这样的世界上信息传播的重要性便日益增大。这时语言的有效作用基本没有变化。但是,实际上使用哪种语言的问题将随国家之间各种因素为基础的实力情况及由此产生的有利条件而变化。

近年来,由于日本在国际社会上经济地位的提高,日语学习者在全世界逐渐增多。现实状况是:作为向他们提供帮助的日本人,在培养专职教师、研究教学方法、编写教材等方面必须更加努力。

在东海大学,从学校的创建者、已故前校长松前正义的时代起,就以把本校建成能为世界作出贡献的大学为目标,在其 50 余年的历史上,一直积极推进国际交流。留学生教育中心也领会到学校的用意,从其前身的国际部时代起,以菊池靖(第一任)、柴田俊造(第二任)两位所长为首的教职员都满腔热情地以日语教育为中心对留学生进行指导,这也有了 25 年以上的实践经验。

本中心近期出版了《日语中高级 I》等教材及参考书,本书也作为其系列丛书之一而问世。为今后的国际交流及留学生教育的发展,期盼各位专家学者对本书提出批评指正意见。



1991 年初秋

东海大学留学生教育中心所长
堀江宗生

前 言

本校为立志进入东海大学学习的留学生设立了予科日语研修课程,本书便是作为其初级阶段使用的教材而编写的。同时也兼顾到其他以进入日本的大学和研究生院为目标的广大留学生使用。

开始编写本书的工作已进行多年。虽经种种变故而进展迟缓,但今天终于实现了出版面世这一首要目标。在编写期间,留学生及日语教育的状况发生了巨大的变化。随之编写方针也不断做出某种程度的修改,但仍有不完全适应现实情况的部分。期望使用本书的各位日语教师加以修改、补充。

事实上这艘编写工作之船曾多次更换船员。由此也可窥见日语教育领域激烈变化之一斑。首先对最早启动这艘船,对本书付出巨大心血的关正昭先生表示感谢。本书的构思、内容、编写步骤等涉及本书全面的工作都依赖于先生的努力。另外,先生在编写中途离开本校时,仍念念不忘对本书未完成部分提出了很多有益的建议。再者就是对继关先生之后承担重任、起到舵手作用的平高史也先生的努力也表示感谢。另外,柴田俊造、土岐哲、备前徹3位先生也参与了本书的部分编写工作。这几位先生都因工作单位的变动而离开本校,但本书中直接间接反映出了他们的编写指导思想。

另外,在长达4年的试用期间,本校日语研修课程的各位教师及留学生们对本书试用版,提出许多宝贵意见,给与多方合作,在此一并表示感谢。

本书的编写工作,以初级Ⅰ、Ⅱ的出版告一段落,但还必须抓紧正在进行的、与本书配套的教材、解说书的编写、各国语言翻译版本的有关工作。敬请本书的使用者继续提供合作和帮助。

1991年9月

东海大学留学生教育中心
初级教科书编集委员会

代表 河原崎幹夫
谷田聪人

本书的内容及使用方法

1. 使用对象

本书是以立志进入日本的大学及研究生院学习的外国留学生为对象,作为其初级阶段课堂用的教科书而编写的。

各课的会话、例句、阅读文章等大多取材于学生们日常大学生活中的场面及语言交流活动。但是,因为本书尽量避免特殊的固有名词及场面,所以东海大学之外的留学生当然可以使用,而且一般成年人日语学习者也同样可以使用。另外,本书为了使汉字圈和非汉字圈、或者无论是任何母语的学习者都能顺利使用,分为主教材和配套材料(单词表、语法注释、假名汉字练习册等),并根据需要分别备有英语、中文、朝鲜语的翻译版本,所以不同的学习者可选用主教材及与主教材配合的辅导材料一起使用(计划依次刊印发行)。

近年来,随着日语学习者人数的增加,来日本之前在本国日语已学到相当水平,即在入本校开始学习之前已学过日语的留学生在增加。本书编写时考虑到了可根据学习者情况和课堂学习情况适当改变本书的使用方法和进度,例如:可作为初级总复习用和检查初级句型用的材料使用。

2. 学习时间

每课平均需要4学时。但这是在课堂上进行情景会话、句型、练习A、B、C所需的时间,并不包括每隔2课(只有开始部分在第4课)选用的阅读文章。一篇阅读文章约需50分钟。学完本书Ⅰ和Ⅱ所需的学时数约为200学时。当然这不过是一个大致的标准。

另外,文字教学要根据汉字圈、非汉字圈学习者的区别,掌握它所用时间不同,因此文字教学时间不包含在上述时间内。而且,按照教学计划在上述时间上还要加上电化教学、作文、会话等时间。

3. 教授方法

本书并不是根据特定的教学法理论编写的。但重点在“句型”,这从正文的内容及构成看得很清楚。一提到句型练习,马上就使人想起录音语言学习法,但本书不是只采用这种教学法。众所周知,始终只进行句型练习的教学方法受到强烈批评由来已久,仅掌握句型是不够的,这一点也十分清楚。但从教学实践的效果来看,对时间有限的成年人,特别是留学生的日语教学中还必须承认句型练习的效果相当好。由此立场出发,本书采用的方针是:在教学方法上应积极吸取从传统的到最新的教学法之长处。因此,我们认为收入本书的丰富的句型、会话、练习应看作是基础,任课教师不应受特定教学法的束缚,要想法设法吸收采用各种教学法的长处,以充分发挥本书的特长,弥补其不足。

4. 结构

(1)教科书的整体结构

本书共46课。由“初级Ⅰ”和“初级Ⅱ”2个分册组成,“初级Ⅰ”从第1课到第24课,“初级Ⅱ”从第25课到第46课。“初级Ⅰ”的句型以所谓单句为主,“初级Ⅱ”以复句为主,各课的排列是以句型为依据。

另外,为向学习者和教师提供帮助,本书付有以下配套教学材料和注解书等,计划依次出版。

配套材料 1(单词练习册及主教材的中文、朝鲜语及英语版)

配套材料 2(语法注释)

配套材料 3(假名、汉字练习册)

配套材料 4(指导讲解书—要点和辅导)

录音带

录像带(录入情景会话)

(2) 句型

收入了一般在初级阶段出现的句型。《初级Ⅰ、Ⅱ》列出的句型覆盖了日本语教育学会编的《日本语教育事典》中所列句型表之全部及国际交流基金编的《日本语初步》书末所列句型、语法项目的绝大多数。可以说包括了日语水平考试 3 级的全部句型及语法项目。

句型的排列考虑到了句型的结构及相互关系,从简单到复杂为序,但学生日常生活中使用率高的句型则不受此限制。而且,较早地出现了动词,以便使学习者积极主动地提出问题、参与会话。

所谓“句型结构及相互关系”是指如下例示的情况。句型中有构成该句型的主要因素(助词、助动词、补助动词、形式体言等),句型出现的顺序原则上依据的方针是:从这些要素所在的套匣式结构的里层往外依次列出。

因此,如果以下面句子为例的话,

「さっきしか**ら**れた**ば**かりだ**そ**うです。」
 a b c

出现顺序为:a 在第 33 课,b 在第 43 课,c 在第 46 课。

这些句型是在各课中以在我们语言交流中实用的、具体且典型的交流(主要是会话)形式,作为“句型”而列出的。这些句型抓住了句子形式与其表达意图、构思之间的关系。

而且,把各课出现的句型压缩到最少数量的基本且抽象的句子形式作为“基本句型”列于书末。这些可以说是句子的骨干部分,用各种句子要素加以充实便是“句型”中表达的思想交流。此“基本句型”除作为索引使用外,还可用于检查已学部分的掌握情况。“基本句型”的汉字全部带注音假名。

(3) 汉字、词汇

汉字在《初级Ⅰ、Ⅱ》中共出现约 550 个。此数量作为初级教科书稍微多了些。这是因为虽然本书是初级用,但也需要有抽象词汇的内容,于是汉字词就多了些。

学习者在丰富词汇的同时,书写词汇使用的文字意识也加深了。用汉字书写的词汇尽可能合理出现。这与来自汉字圈的日语学习者的增加有密切关系。另一方面,因考虑到非汉字圈的日语学习者多少有些困难,所以需要予以照顾。

因此,汉字的出现采取渐增方式,为便于学习者记忆和掌握,尽可能把有关连的汉字集中一起出现。即使不是正文出现的单词,有的也作为关连汉字列出。非正式出现的汉字均注上读音,但重复出现时后面的注音省略。

另外,为了克服每天蜂拥而至的汉字难题,我们同时准备了各种汉字练习材料,并一直试用。这些练习册正在进行修改工作,以便正式出版。

除去助词、助动词,《初级Ⅰ》的词汇量约为 1500 个,《初级Ⅱ》约为 1000 个,共计约 2500 个单词。单词在教科书中的出现率不只一次,尽可能使其出现多次,以提高出现频率,争取牢固掌握它们。

词汇索引付于《初级Ⅱ》书末。(编译时《初级Ⅰ》《初级Ⅱ》分别附上了词汇表——编译者注)

(4)录音

备有自学、电教练习用的录音磁带。以东京话为标准发音,《初级Ⅰ》的磁带录制得稍慢些,《初级Ⅱ》的接近自然讲话速度。全部内容对听写和练习正确发音均很有效,这是理所当然的,特别希望学习者一定要反复听会话和练习B,进行包括重音、语调等韵律在内的模仿练习。

另外,有时要表达感叹词、笑声等微妙的感情和态度。这些很难用文字表达出来,磁带里适当录入了这类内容,希望听录音时对此加以注意。

(5)各课的结构

各课都由如下内容构成:

1)会话

设想出对学习日语的外国人来说是必要的或者是日常生活中常见的场面和情景,编写出很自然的会话。会话中吸收了很多本课学习的句型,但也注意到了要避免因煞费苦心吸收句型而使会话变得不自然。寒暄和惯用会话也分散于各课中。

2)句型

原则上是把本课出现的基本句型(书末刊载的“基本句型”)放入简短会话中而形成的句子便是句型。编写时注意通过实际会话中典型的变化,与使用场面和表达意图、构思等相联系,更准确地抓住抽象度高的固定“形式”的基本句型。

3)练习A

可替换的词语示于方框中,这样可以使句型的基本结构一目了然。通过替换词语进行听说练习,可加深对句型意义和结构的理解。

4)练习B

是传统形式的句型练习。根据教学第一线教师的要求,这类句型练习没有减少。对不考虑含义机械的回答之类练习的批评很多,但又不能完全排除。根据需要可适当加以补充其他内容,例如用回答形式确认会话场面及会话对象等。

5)练习C

这是一个重视在对话中功能的简短会话练习。此练习不拘泥于本课句型,其练习目标是使学习者练习到能在实际会话场面中立刻应用于会话中的有用的表达形式。

虽各课不尽相同,但都编入了角色及游戏性练习等。

6)阅读文章

开始是在第4课,随后是每3课,在课后有一阅读文章栏目。这些文章是作为使用已学过的句型能够表达的阅读文章之例而选载的。可作为阅读练习,作文参考。

目 录

序

前言

本书的内容及使用方法

第 1 课	那是我的·····	(2)
第 2 课	多少钱·····	(13)
第 3 课	从几点开始·····	(20)
第 4 课	林先生在吗·····	(30)
第 5 课	到朋友家去了·····	(42)
第 6 课	真热闹啊·····	(52)
第 7 课	每月去二、三次·····	(63)
第 8 课	弄到了两张票·····	(73)
第 9 课	因出差来的·····	(80)
第 10 课	体育运动足球最普及·····	(89)
第 11 课	想去旅行·····	(97)
第 12 课	哪个声音好听·····	(107)
第 13 课	好吧,我等着你·····	(116)
第 14 课	可以停车吗·····	(127)
第 15 课	钱包掉了·····	(135)
第 16 课	是位女老师,很热情·····	(144)
第 17 课	看了吗?前几天的电影·····	(154)
第 18 课	能读报纸吗·····	(163)
第 19 课	请不要忘记·····	(174)
第 20 课	曾经去过吗·····	(186)
第 21 课	用阿拉伯语说,这叫什么·····	(195)
第 22 课	也许下雨吧·····	(203)
第 23 课	登丹泽时拍照的·····	(212)
第 24 课	是穿茶色套装西服的那位吗·····	(219)
基本句型表·····		(227)
日语初级 I 汉字表·····		(230)
日语初级 I 词汇表·····		(232)

五十音图平、片假名表

平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名
あ	ア	か	カ	さ	サ	た	タ	な	ナ	は	ハ	ま	マ
い	イ	き	キ	し	シ	ち	チ	に	ニ	ひ	ヒ	み	ミ
う	ウ	く	ク	す	ス	つ	ツ	ぬ	ヌ	ふ	フ	む	ム
え	エ	け	ケ	せ	セ	て	テ	ね	ネ	へ	ヘ	め	メ
お	オ	こ	コ	そ	ソ	と	ト	の	ノ	ほ	ホ	も	モ
や	ヤ	ら	ラ	わ	ワ								
ゆ	ユ	り	リ	ん	ン								
よ	ヨ	る	ル										
		れ	レ										
		ろ	ロ										

浊音								半浊音	
平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名	平假名	片假名
が	ガ	ざ	ザ	だ	ダ	ば	バ	ぱ	パ
ぎ	ギ	じ	ジ	ぢ	ヂ	び	ビ	ぴ	ピ
ぐ	グ	ず	ズ	づ	ヅ	ぶ	ブ	ぷ	プ
げ	ゲ	ぜ	ゼ	で	デ	べ	ベ	ぺ	ペ
ご	ゴ	ぞ	ゾ	ど	ド	ぼ	ボ	ぽ	ポ

第1課
だいいっ か

それは わたしのです

山 田 「わすれものですよ。この 本は だれのですか。」
やま だ

チ ン 「あ、それは わたしのです。」

山 田 「この ボールペンも チンさんののですか。」

チ ン 「いいえ、ちがいます。」

リ ー 「すみません。その ボールペンは わたしのです。」

山 田 「ああ、リーさんののですか。はい、どうぞ。」

リ ー 「どうも ありがとう ございます。」



【ぶんけい】

1. あなたは 学生ですか。

はい、(わたしは) 学生です。〈はい、そうです。〉

いいえ、学生では ありません。〈いいえ、そうでは ありません。〉

2. みなさんは 中国人ですか。

はい、(わたしたちは) 中国人です。

あの人も 中国人ですか。

はい、(あの人も) 中国人です。

いいえ、(あの人は 中国人では ありません。) あの人は 日本人です。

3. これは なんですか。

(それは) ノートです。

4. それは ペンですか、えんぴつですか。

(これは) ペンです。

5. この かばんは だれのですか。

(それは) 田中たなかさんのです。

あれは だれの カメラですか。

(あれは) わたしの カメラです。

6. あなたの 本は どれですか。

(わたしの 本は) これです。

7. どれが 田中さんの かばんですか。

これが 田中さんの かばんです。

8. どの人が アリさんですか。

あの人が アリさんです。

9. 鈴木先生は なんの 先生ですか。
すずき

鈴木先生は 日本語の 先生です。

【れんしゅうA】

1. わたしは

学生

です。

留 学生
りゅうがくせい

別科の 学生
べっ か

日本人

中国人

2. あなたは

リーさん

ですか。

チンさん

田中さん
た なか

3. あの人は

ラタナさん

では ありません。

鈴木先生
すずき

山田先生
やまだ

4. これは

本
じしょ
ざっし
ノート
かみ

です。

5. この

かばん
めがね
どけい
かさ
かぎ

は

わたし
あなた
リーさん
チンさん
ラタナさん

のです。

6. これは

わたし
あなた
リーさん
チンさん
ラタナさん

の

えんぴつ
ボールペン
シャープペン
けしゴム
ワープロ

では ありません。

7. これは

日本語
中国語

の

じしょ
本
ノート
ざっし

です。

8. これは チンさんの じしょです。

これも チンさんの じしょ です。

【れんしゅうB】

1. れいのように こたえなさい。

れい：これは 本ですか。(本)

→ はい、それは 本です。

それは ざっしですか。(ノート)

→ いいえ、これは ざっしでは ありません。ノートです。

(1) それは かさですか。(かさ)

(2) これは ボールペンですか。(シャープペン)

(3) あれは ざっしですか。(じしょ)

(4) これは ワープロですか。(ワープロ)

(5) それは カメラですか。(カメラ)

(6) それは テレビですか。(ワープロ)

(7) あの人 は 中国人ですか。(日本人)

(8) あの人 は タイの 学生ですか。(インドネシアの 学生)

2. れいのように こたえなさい。

れい：それは 田中さんの かさですか。(山田先生の)

→ いいえ、これは 田中さんの かさでは ありません。山田先生のです。

(1) あれは 山田先生の めがねですか。(リーさんの)

- (2) これは リーさんの かばんですか。(チンさんの)
- (3) それは チンさんの とけいですか。(ラタナさんの)
- (4) あれは ラタナさんの ボールペンですか。(鈴木さんの)
- (5) これは 鈴木さんの かぎですか。(田中さんの)

3. れいのように かえなさい。

れい：これは チンさんの かさです。→ この かさは チンさんのです。

- (1) これは 山田先生の じしょです。
- (2) それは 田中先生の めがねです。
- (3) それは リーさんの ノートです。
- (4) あれは チンさんの カメラです。
- (5) あれは ラタナさんの かさです。
- (6) これは わたしの ボールペンです。

4. れいのように こたえなさい。

れい1：この かさも 田中さんのですか。(田中さんの)

→ はい、その かさも 田中さんのです。

れい2：この かばんも 田中さんのですか。(鈴木さんの)

→ いいえ、その かばんは 田中さんのでは ありません。鈴木さんのです。

- (1) この かさも ラタナさんのですか。(ラタナさんの)
- (2) その カメラも 山田先生のですか。(リーさんの)
- (3) あの じしょも リーさんのですか。(リーさんの)
- (4) この えんぴつも ラタナさんのですか。(鈴木さんの)
- (5) その 本も 鈴木さんのですか。(鈴木さんの)

5. れいのように かえなさい。

れい：あなたの かさは どれですか。 → どれが あなたの かさですか。

- (1) チンさんの かばんは どれですか。
- (2) リーさんの めがねは どれですか。
- (3) 田中さんの かさは どれですか。
- (4) 鈴木さんの かぎは どれですか。
- (5) 山田先生は どのかたですか。
- (6) 鈴木先生は どのかたですか。

6. れいのように かえなさい。

れい：どれが あなたの かさですか。 → あなたの かさは どれですか。

- (1) どれが チンさんの かばんですか。
- (2) どれが リーさんの めがねですか。
- (3) どれが ラタナさんの かさですか。
- (4) どれが 鈴木先生のかぎですか。
- (5) どのかたが 山田先生ですか。
- (6) どのかたが 鈴木先生ですか。

7. れいのように かえなさい。

れい：リーさんの じしょです。 → だれの じしょですか。

- (1) 田中さんの かさです。
- (2) 山田先生のかばんです。
- (3) ラタナさんの シャープペンです。